

令和7年5月20日、今年度最初の「高校生の林業学習」が立正大学淞南高等学校において実施されました。

同校では、探求学習の授業において、島根県内の環境問題(特に森林・林業)について学び、SDGsと関連づけ、その課題解決に向けた話し合いがなされます。

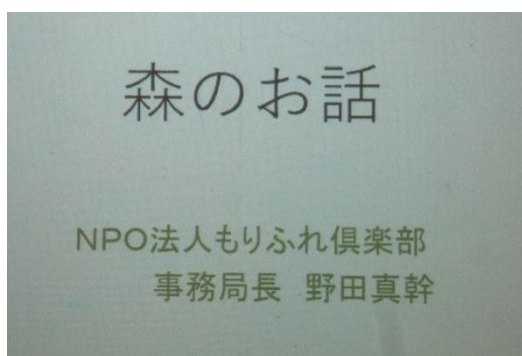
今回は、島根県の森林の歴史や現状、循環型林業などについて、1時間聴講されました。

今後、林業現場(チップ工場・木質バイオマス発電所)の見学や島根県中山間地域研究センターの視察及び、島根県立農林大学校飯南キャンパスでの体験が計画されています。

受講者は、1～3年生 43名と教職員の方々でした。



講師は特定非営利活動法人もりふれ倶楽部
事務局長 野田真幹氏



島根県の森林の現状と課題、未来に緑の資源を引き継ぐために必要な作業などについて、話されました。



生徒に答えてもらう質問形式の講義で生徒の皆さんは熱心に聴講されていました。